

High Five Kids English 避難訓練マニュアル

～いざというときに慌てずに適切に動けるように～

2024年9月

避難訓練の目的

【子ども】 保育士の指示をしっかりと聞き、安全に避難できるようにすること

避難訓練に繰り返し参加し身につけさせることで、手順を把握し落ち着いて行動できるようにする

【保育士】 実際の災害時に冷静な判断ができ、子どもたちに適切な指示を出せるようにする

保護者への連絡方法、子どもの引き渡し方法を確認し、避難時の問題点を把握する
慌てない。子どもに不安や恐怖を与えないように、落ち着いて子どもに働きかける。

【保護者】 災害時の情報共有をスムーズに行い、パニックを防ぐこと

連絡手段、園から連絡する頻度、避難場所、引き渡しのルールを明確にする



想定される災害

- ① 火災
- ② 地震
- ③ 大雨土砂災害
- ④ 不審者侵入
- ⑤ 外出時の交通事故



災害別避難訓練のポイント

- ① 火災訓練
 - ・火元の確認
 - ・風向きの確認
 - ・人数確認
 - “Calm down, Be quiet”
- ② 地震訓練
 - ・隠れる
 - ・頭を守る
 - ・避難経路の確保
 - ・窓を開ける
 - ・人数確認
- ③ 大雨土砂災害訓練
 - ・情報を集め、保護者に早めに連絡する
 - ・周辺の状況を把握する

「おかしも」【お】押さない【か】かけない【し】しゃべらない【も】もどらない

No Push No Run No Talking Don't go Back

④ 不審者避難訓練

- ・外にいる場合は室内に避難しカーテンを閉める
- ・警察に通報する
- ・近隣に助けを求める
- ・人数確認
- ・安全を確保したらスクールに帰る。
- ・場合によっては保護者に迎えに来てもらう
- ・保育所内に侵入して来た場合は不審者の顔にハチの撃退スプレーをかける
- ・セコムを呼ぶ
- ・窓やドアから子どもを脱出させる
- ・近隣に助けを求める
- ・人数確認
- ・保護者に迎えに来てもらう

「いかのおすし」【いか】行かない【の】乗らない【お】大声で叫ぶ【す】すぐ逃げる【し】知らせる

Don't Go Don't Run SCREAM GO Run Tell Someone

⑤ 引き渡し訓練

- ・引き渡し場所の確保
- ・引き渡しの連絡
- ・引き渡しカードの確認
- ・スムーズな引き渡し

⑤ 交通事故訓練

- ・子どもはできるだけ車道から離れて歩く
- ・保育者は子どもの列の前、中、後
- ・保育者は道路側を歩く
- ・交差点では離れて止まる

日常から注意するポイント

1. 毎朝の出欠確認
2. 各クラスのバックパックの中身確認
3. おやつ、水のストック確認
4. 行動の前後の声出しでスタッフ同士の人数確認 (リピートする)

【防災訓練マニュアル】

子どもの動き

保育者の動き

火災発生

YUKI 「 火事だ！ FIRE!」

子どもを集める。出火元、風向きを確認。人数確認

High5 内で出火→消防署に連絡

準備ができたクラスから素足で避難

High Five 内で出火→ エントランスからレッスンルーム前へ。人数確認。

ファミリーセンター内で出火→ 風向きによってコミュニティセンター、公園へ

出口は玄関か dolphin、p/p の窓を判断

ベビーカーの要・不要を確認

SACHIKO, ATSUKO は残って各部屋、2階に人がいないか確認

地震発生

YUKI 「地震だ！ EARTHQUAKE!」

机の下に隠れる

机の下に避難させる

机が出ていないときは

一か所に集める

一カ所に集まり保育者が覆う

窓を開ける。エントランスドアを開ける

地震の情報を収集する

大雨土砂災害

気象警報をチェックし、早めの段階でお迎え要請の LINE を送る

お迎えが来るまで待機

不審者侵入

YUKI 「不審者！ STRANGER!」

外にいる場合は隠れる

鍵を閉める

侵入してきたときにセコムのボタン

警察に通報

人数確認

車の事故

YUKI 「危ない！ CAR IS COMING!」

子どもは道路の内側、保育者または年齢が上の子は車道側

交差点での横断は安全なところで。ガードレールがあるところが望ましい

信号を渡るときは、信号待ちの車のウィンカーを確認

【引き渡し訓練マニュアル】

子どもがスクールにいる際、緊急事態が発生した場合は、原則保護者への引き渡しを行う。

緊急時（災害警戒レベル3・震度5以上の地震・火災・不審者侵入など）

↓

一時避難：子どもの安全確保

↓

YUKI が対応を判断

↓

引き渡しの判断

↓

保護者へ引き渡しの連絡(緊急用 LINE)

↓

引き渡しカードの準備

↓

子どもたちをクラスごとに整列、待機。同時に交通機関の運行状況を確認。

↓

引き渡しカードでの確認

※保護者あるいは代理人であることを確認

↓

保護者への引き渡し

※引き渡した時刻を記入、名簿にチェック

↓

残った子どもの保護

※引き渡しがいっ頃になるか見通しを持つ

再 LINE 連絡

※子どものいるスタッフの帰宅

↓

引き渡し完了